

19人の軌跡 見つめて

表題は朝日新聞 10月24日夕刊。リードから「僕らをどうして不幸せと、勝手に決めるのか？」。相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」で7月に殺傷事件が起きた後、重度の身体障害があるさいたま市の女性が歌を作った。タイトルは「19の軌跡」。亡くなった19人に自分の思いを重ねた。

難病の脊髄性筋萎縮症のため、車椅子で生活する見形信子さん(47)。障害者の自立を支援するNPO法人に勤めている。事件後、「自分たちもできることはないか」と、中学校教諭の新島茂男さん(57)と19行の詞を書き上げた。

事件から2週間後の8月10日。山あいにある施設の献花台を訪れ、「やっぱり、ここも同じだ」と思った。「ほとんど知られていないような場所で暮らしていたんだなって。自分の過去がフラッシュバックしてきた」。花を供え、新島さんと園に向かって歌った。見形さんは生まれつき、手のほかはほとんど動かない。小学校には通えず、12歳で施設に入るまで、多くの時間を家の中で過ごした。人に会うこともなく、客が来ると2階に上げられたこともあった。「大人の話に入らないよう配慮してくれたのかもしれないが、隠されたように感じた。今も振り返ると悲しい」

■「19の軌跡」の歌詞

僕らはちゃんと生きてきたよ	ちゃんと夢だって見ていたよ
風や空や海だって感じる事ができたのに	
僕らをどうして不幸せと、勝手に決めるのか?	
僕らの軌跡消さないでよ 19のかがやき	19の強さ みつめてよ
僕らのそばにはやまゆりが	いつもそよそよ揺れていたよ
気高さあrawす花のように僕らの誇りもそこにある	
僕らの人生はかけがえないと、みんな気付いてよ	
僕らの軌跡消さないでよ 19の気高さ	19の強さ たた 讃えてよ
僕らはきっと礎になる こんな過ち 繰り返さないで	
怒りも くやしさも 悲しみも 僕らが残した軌跡だから	
僕らがなんにもできないなんて なんて決めるのさ?	
僕らの軌跡消さないでよ 19の心	19の強さ 感じてよ
いつまでも決して消えることない 僕らの軌跡	
19の軌跡 忘れちゃいけない	



(2016年11月3日)